

ミシガン州運輸局 Planiswareの活用により 道路インフラプロジェクトを 最適化し、資金活用と効率を最大化



年間予算

21億ドル

正職員およびパートタイム職員

2,410名

管理する州高速道路網システム

9,964マイル

ミシガン州運輸局は、Planisware Enterpriseを導入し、標準化されたパラメトリック推定や各プロジェクトの属性に基づくアルゴリズムを用いて、道路設計プロジェクトのスケジュール生成およびプロジェクト管理を実現しました。

課題

他の運輸局（DOT）と同様に、ミシガン州運輸局は、老朽化した道路インフラへの対応を迫られており、減少傾向にある財源の中で、改修および維持管理を行う必要があります。これらの財源は複雑で、特定の資金利用期間が定められており、期間内に消化されなかった資金は失われます。このため、ミシガン州運輸局では、利用可能な資金を有効活用するために、プロジェクトプログラムを常に見直し・調整しています。利用可能な資金を確実に活用するため、資金利用期間内でのプロジェクト完了が重視されており、プロジェクトの進捗管理や再スケジュールリングは、プログラムマネジメントにおける重要な要素となっています。

“

今回の導入における最大の成功要因は、チェンジマネジメントでした。私たちは当初から優秀な「スーパーユーザー」を特定し、要件定義やユーザーテスト、さらにはトレーニング戦略の策定にも参画してもらいました。彼らは「チェンジエージェント」となり、組織全体に前向きな機運を広げていきました。トレーニングが始まる頃には、単にシステムを学ぶだけでなく、受け入れる準備が整っていたのです。

”

Xriver Technologies社
DOTプロジェクトマネージャー

解決策

ミシガン州運輸局は、プロジェクト管理機能に加え、プロジェクトの属性や標準化されたアルゴリズムに基づいてリソース負荷を考慮したカスタマイズ可能なスケジュールを作成できる点を評価し、Planisware Enterpriseを採用しました。同局では従来、複雑な方程式（equation）体系に基づいてプロジェクトスケジュールを生成するネットワークジェネレーターを20年以上にわたり使用していました。

Planiswareにネイティブで搭載されている方程式機能により、ミシガン州運輸局はこれまで蓄積してきた組織内のノウハウを活用し、アルゴリズムや属性、テンプレートに基づくプロジェクトスケジュールの作成を継続できるようになりました。

これにより、ミシガン州運輸局は常に変化するプロジェクトプログラムに柔軟に対応できる体制を整え、属性やスケジュールが変更されるたびに新たなスケジュールを生成できるようになりました。さらに、新しいスケジュールが生成されるごとに、プロジェクトリソースも再配分され、実行フェーズへと引き継がれます。



351

ユーザー

1,088件

アクティブプロジェクト

オンプレミス実装

使用モジュール



プロジェクト
マネジメント



ポートフォリオ
マネジメント



リソースマネジメント



Eラーニング